

第 22 期 pES club シナリオ 4

2023 年 4 月 9 日

聖路加国際大学大学院 博士後期課程

小布施 未桂

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣医科大学附属病院の循環器病棟に勤務する新人看護師です。もうすぐ、一人で患者さんの受け持ちをする独り立ちの時期です。

今日は、心不全で入院中の布令瑠偉さん（80 歳男性）の退院指導に同席させてもらうことになりました。受け持ちは、先輩看護師の狩須磨さんです。

狩須磨「布令さん、今日の説明はここまでにしますね。ところで布令さんは、外にお出かけしたり、ご友人にお会いになったりすることはどれぐらいありますか？」

布令「いやあ、あまり外に行く用事もないしねえ．．．」

布令さんのお部屋を退室後、あなたは狩須磨さんに尋ねました。

あなた「あの、なぜ最後にお出かけのことを聞いていたのですか？」

狩須磨「布令さんの表情がなんだか少し暗いように感じたからよ。気づいた？前に、布令さんみたいな様子で退院した患者さんがいてね。しばらくして再入院してきたんだけど、すごく痩せてしまっていて、体力も落ちて、そのまま寝たきりになってしまったのを思い出して．．．フレイルってきいたことある？」

あなた「はい。体重減少とか筋力低下で疲れやすくなってしまうことですね？」

狩須磨「そう。それもフレイルなんだけれど、ほかに、社会的なフレイルっていうのも最近注目されていて、人との関わりが少なくなると入院や死亡に影響するらしいの。それでちょっと聞いてみたのよ」

あなたは、心不全患者が社会的フレイルだと入院のリスクが増えたり寿命が短くなったりするのか、調べてみることにしました。